大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

人権週間特別講演会

2026

大阪人権博物館（リバティおおさか）
資料寄贈の意義とその経緯

―― 大阪公立大学大学史資料室に開設された人権関係資料収蔵庫について ――

人権というと、むずかしい・かたい・自分には関係ない…
と感じる人もいるかもしれません。
でも、毎日の暮らしや身近な人との関わりの中に、
考えるヒントがあります。
人権週間特別講演会では、身近なエピソードから、
誰もが自分らしく生きられる社会について一緒に考えます。



開催日時

12月4日（金）
10:45～12:15
（開場 10:15）

参加方法・お申込み

会場参加
50名
高原記念館／杉本Wing
（杉本キャンパス内）

オンライン参加
300名
Zoomにて配信

締切：12月１日（火）
12：00

大阪人権博物館（リバティおおさか）は、
1985年の開館から41年間にわたって、資料の収集保管、展示公開、教育普及などの博物館事業を通して、日本における差別撤廃と人権確立に重要な役割をはたしてきました。

今年の６月29日、大阪人権博物館が所蔵する約３万点に及ぶ資料が大阪公立大学に移管され、大学史資料室人権関係資料収蔵庫が開設されたことは、日本における大学の歴史にとって画期的な意義をもっています。

今回の特別講演会では、大阪人権博物館の朝治武館長から、開館に至る経過、博物館事業の内容と特徴、大阪公立大学大学史人権関係資料収蔵に移管された主要な資料などについて、自らの体験を含めて説明いただきます。

講師プロフィール



朝治 武（あさじ たけし）
大阪人権博物館 館長
（リバティおおさか）

1955年、兵庫県生まれ。大阪市立大学文学部卒業。
1982年から大阪人権博物館に勤務。2013年から現職。
著書に『水平社の原像』（解放出版社、2001年）、
『水平社論争の群像』（解放出版社、2018年）、
『全国水平社1922-1942－差別と解放の苦悩－』
（筑摩書房、2022年）、
『高松結婚差別裁判－全国水平社と司法権力の対抗－』
（解放出版社、2026年）、他多数がある。

（対象）大阪公立大学の学生・教職員、一般の方
（申込）QRコードまたは こちら からお申込みください。定員に達した場合は早期に締め切ることがあります。
オンライン参加の方には、申し込みアドレスに、オンライン参加用のURLをご連絡します。
（注意）システム障害の影響により、オンライン配信が不安定になる可能性があります。
視聴中に不具合が生じた場合は、後日配信するアーカイブ版をご視聴ください。

主催：大阪公立大学 人権問題委員会　　共催：大阪公立大学 大学史資料室